

荒川第二・三調節池整備事業 「DXだより」

第1号 2021.8.4

編集・発行
荒川調節池工事事務所

DXの取り組み【建設DX推進室を設置】

全力！建設DX 荒川第二・三調節池

荒川調節池工事事務所は、i-Constructionの取り組みをリードするモデル事務所として、測量・地質調査から設計、施工、維持管理まで、BIM/CIM等3次元データの活用やICT等の新技術を導入し、建設生産管理システム全体の効率化に向けたDX(デジタル・トランスフォーメーション)を進めています。

今年4月には、地方公共団体・建設業者等が当事業のBIM/CIM等3次元データを体験できる「建設DX推進室」を設置し、DX推進のためのフィールド整備、新技術の導入、人材育成の促進に向けて始動しています。

※BIM/CIMとは、計画・調査・設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工・維持管理の各段階においても活用し、併せて事業全体にわたる関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産・管理システムにおける品質確保、受発注者双方の業務の効率化・高度化を図るものです。



荒川第二・三調節池BIM/CIM統合モデルの構築



BIM/CIM操作体験【建設DX推進室】
・5月～7月：延べ5団体 15名



地形モデル : 地図情報レベル500, 1000
地質・土質モデル : Brデータ172本のボーリングモデル
準3次元地盤モデル、3次元地盤モデル
土工形状モデル : 詳細度300 圍繞堤・仕切堤、池内水路
構造物モデル : 詳細度200 排水門2基、越流堤2基

DXの取り組み【BIM/CIMデータを一般公開】

地方公共団体や建設業者等における3次元データ利活用の振興を図ることを目的に、当事業の**BIM/CIMデータを一般公開**し、**ホームページからダウンロード**することができるようにしています。

また、「**建設DX推進室**」では、**この公開データを全て閲覧・操作の体験が可能**です。生産性の向上を図るため、民間発想との連携や技術提案・施工計画の立案等へ活用していただきたいと考えています。

公開サイト：https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i_construction/bimcim.htm

※公開データは、本サイトの利用規約を確認の上、ご利用ください。



統合モデル

公開した地形モデル、線形・土工モデル、構造物モデル、地質・土質モデルを統合したもので、360°あらゆる角度に操作・閲覧することができます。

ホームページ公開データの閲覧数とダウンロード数

	5/31~6/28	6/29~7/29	合計
閲覧数	334	647	981
ダウンロード数	92	120	212

■令和3年5月31日公開（第1弾）
・地形データ

■令和3年6月29日公開（第2弾）
・線形・土工モデル
・構造物モデル

■令和3年7月30日公開（第3弾）
・地質・土質モデル
・統合モデル

【お知らせ】

荒川第二・三調節池整備事業の取り組みとして、「**DXだより**」を発行しました。今後も定期的に発行し、皆さまに情報発信しますので、荒川調節池ホームページよりご確認くださいようお願いいたします。

国土交通省関東地方整備局
荒川調節池工事事務所

〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島8-17-1
TEL.048-767-6041(代)

ホームページアドレス
<https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/>

